

2022年3月期 財務概要

デジタルハリウッド大学

2022年3月期の収支状況

当年度の収入は1,627百万円となり、前年度に比べ64百万円増となりました。主な内訳として、入学者数が今年度においても好調となり、在籍学生数の増と修学支援新制度授業料等減免による支弁者の費用負担の安定などにより学生等納付金53百万増、海外提携大学への授業提供増による収入7百万増、地域連携・撮影協力などの設備貸出収入が回復し3百万増、その他増減によるものです。

当年度の支出は1,517百万円となり、前年度に比べ103百万円増となりました。前年度に引き続き、コロナ禍における感染症対策を十分に行い、オンライン・リアルいずれでも遜色のない学習機会の提供が行えるようインフラの拡充を継続しました。また、本学の未来構想DHU2025*を実装するために積極的にスタッフの増強・設備拡充を行いました。開講数の増や対応スタッフ拡充などで大学部門の人件費は28百万増となりました。学習提供インフラ拡充のため設備運営関連費用は30百万増となりました。カリキュラム施策・学事の充実など学生の活性化については引き続き重点施策と位置づけ関連費用8百万増となりました。また、引き続き国内外での大学広報の強化・募集を拡大し関連費用46百万増となりました。昨年に続き、コロナ禍などで家計急変となった学生への経済的支援として大学独自の学費減免・奨学金の拡充を継続しております。その他費用の見直しによる増減があります。

以上のように積極的に費用運用を行った結果、収支差額比率は前年度より2.8ポイント低下、収支差額は110百万円となりました。

*本学の未来構想 DHU2025 www.dhw.ac.jp/profile/vision (キーワード検索「DHU VISION」でもご覧いただけます)

過去5期間の推移 (単位:百万円)

項目	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
収入	1,351	1,412	1,474	1,563	1,627
支出	1,252	1,285	1,329	1,413	1,517
大学部門人件費	321	346	352	341	369
大学部門人件費以外	738	751	794	840	922
管理部門人件費(配賦)	74	42	68	64	57
管理部門人件費以外(配賦)	117	145	114	166	166
収支差額	99	128	145	150	110
収支差額比率	7.4%	9.1%	9.9%	9.6%	6.8%

本表における支出適用方法について

本学は2004年(平成16年)に構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置として認定され、文部科学省の認可を受け設立した株式会社立大学です。設置会社のデジタルハリウッド株式会社では、監査法人による外部監査のもと年度決算を確定しております。また、事業部制により各事業部・グループごとの会計を行っております。本表では、文部科学省への設置計画履行状況報告の際に用いた支出配賦方法に基づいて算定と表記を行っております。

- ・設置会社の部門は、収益部門と管理部門に分けられます。大学は収益部門となります。
- ・管理部門の経費について、期間ごとに大学の収入(会社会計では売上高に分類)が設置会社全体の売上高に占める割合に基づき配賦率を定め、大学運営に必要な間接経費として期間ごとに配賦しております。

以上